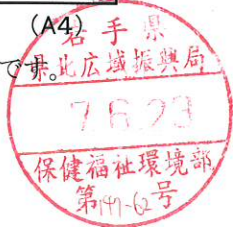


様式第1号（第3条の2関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 20日	
岩手県知事 達増 拓也 様	
提出者	
住 所 岩手県久慈市新井田第4地割8番地6	
氏 名 株式会社 小山組	
代 表 取締役 小山 和 則	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0194-52-2555	
循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 小山組
事業場の所在地	岩手県久慈市新井田第4地割8番地6
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業（総合工事業）
② 事業の規模	元請完成工事高 7億円（令和6年度）
③ 従業員数	59人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙、処理工程の通り。

※ この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所が対象です。



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙、社内管理体制の通り。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・余剰材の減量化に努めている。 ・過度な梱包をしないようお願いしている。		
②計画	【目標】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・最低限、現状を継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現場ごとに種類別の産廃カゴ(袋)を設置し、分別に努めている。 ・当社員(作業員)は勿論のこと、下請業者にも周知させている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・最低限、現状を継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自ら中間処理は行っていない。		
②計画	【目標】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

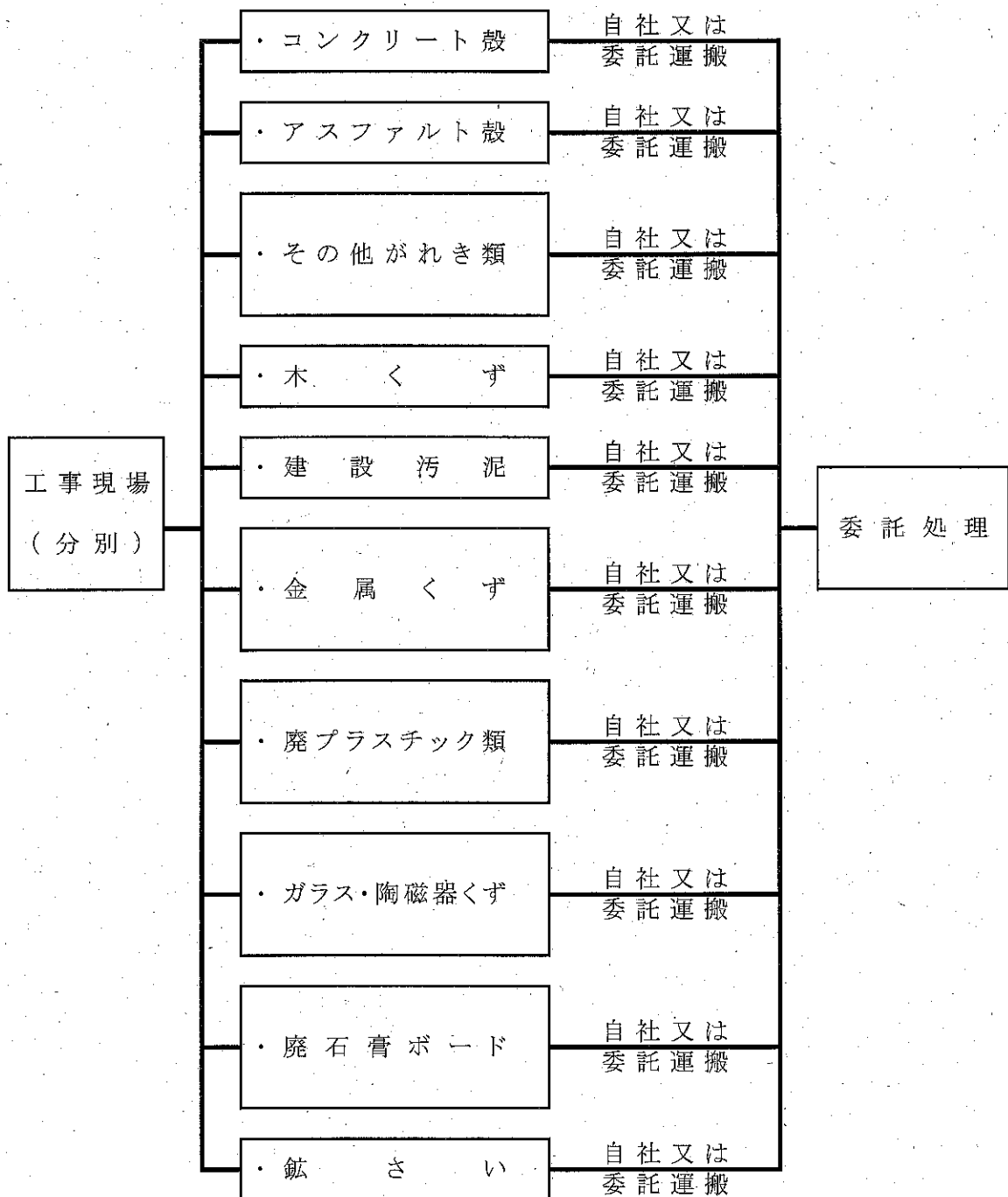
①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・事前に産業廃棄物処分業許可証等で有効年月日、事業の範囲等を確認し、委託契約をしている。 ・安価や処分場が近いなどの理由だけで処分業者を選定せず、処理能力、実績、信頼度等、考慮し委託している。 ・中間処理できる廃棄物については中間処理業者に委託している。		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現在、最終処分業者に委託している廃棄物を、 中間処理できる処理業者が近隣にできた場合には、 積極的に中間処理業者に委託する。		
	※事務処理欄		

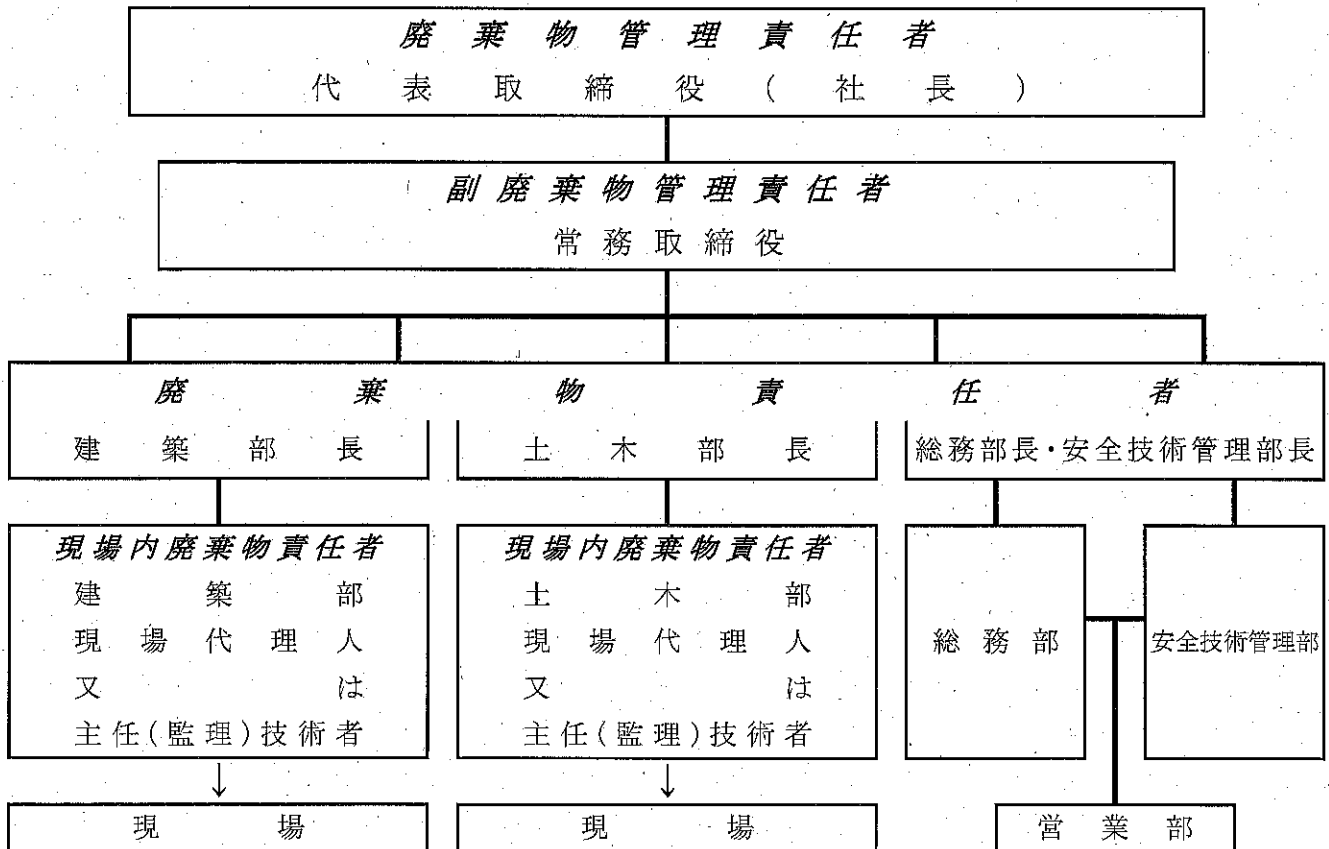
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

主な産業廃棄物の一連の処理工程 (予定)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

社内組織図 (令和7年4月1日現在)



責任者(各部)の役割

廃棄物管理責任者 代表取締役(社長)	・ 会社全体の廃棄物に関する全ての事項。
副廃棄物管理責任者 常務取締役	・ 廃棄物管理責任者の代行。 ・ 各部への教育・指導。
廃棄物責任者 各部長	・ 部内の教育・指導。 ・ 必要に応じて現場の教育・指導・助言。
現場内廃棄物責任者 現場代理人又は 主任(監理)技術者	・ 現場内廃棄物に関する全ての事項。(計画、管理等) ・ 現場内廃棄物に関する書類の作成、提出。 ・ 現場作業員(下請会社含)の教育・指導。
総務部	・ 廃棄物に関する必要書類の作成、提出。 ・ 必要に応じて現場内廃棄物責任者の補助。
安全技術管理部	・ 安全パトロール時の廃棄物処理基準に関しての点検。 ・ 廃棄物に関する必要書類の作成、提出。
営業部	・ 総務部、安全技術管理部の補助。

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 全 体)

数値は、
上段:前年度実績値

有 償 物 量

不 要 物 等 発 生 量

排 出 量

自 ら 直 接
再 生 利 用 す る 量

② 0.000 t
0.000 t

自 ら 直 接 埋 立 処 分
又 は 海 洋 投 入 処 分 す る 量

③ 0.000 t
0.000 t

自 ら 中 間 処 理 し た 後
再 生 利 用 す る 量

⑧ 0.000 t
0.000 t

自 ら 中 間 処 理 し た 後
自 ら 埋 立 処 分 又 は
海 洋 投 入 処 分 す る 量

⑨ 0.000 t
0.000 t

自 ら 中 間 処 理 す る 量

④ 0.000 t
0.000 t

自 ら 中 間 処 理 し た
後 の 残 さ

⑥ 0.000 t
0.000 t

④ の うち 熱 回 収 を
行 う 量

⑤ 0.000 t
0.000 t

自 ら 中 間 処 理 に よ り
減 量 し た 量

⑦ 0.000 t
0.000 t

直 接 及 び 自 ら
中 間 処 理 し た 後 の
委 託 処 理 量

⑩ 719.949 t
1,000.000 t

⑩ の うち 優 良 認 定
処 理 業 者 へ の
処 理 委 託 量

⑪ 0.000 t
0.000 t

⑩ の うち 再 生 利 用 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑫ 705.880 t
945.000 t

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑬ 0.000 t
0.000 t

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑭ 0.000 t
0.000 t

項 目	実 績 値
①排出量	719.949 t 1,000.000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t 0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t 0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t 0.000 t
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.000 t 0.000 t
⑩全処理委託量	719.949 t 1,000.000 t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t 0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	705.880 t 945.000 t
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.000 t 0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.000 t 0.000 t

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: コンクリート 殻)

数値は、
上段:前年度実績値

有 償 物 量

不 要 物 等 発 生 量

排 出 量

① 594.67 t
500.00

自 ら 直 接
再 生 利 用 す る 量
② 0.00 t
0.00

自 ら 直 接 埋 立 処 分
又 は 海 洋 投 入 処 分 す る 量
③ 0.00 t
0.00

自 ら 中 間 処 理 し た 後
再 生 利 用 す る 量
⑧ 0.00 t
0.00

項 目	実 績 値
①排出量	594.67 t 500.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t 0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t 0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t 0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00 t 0.00
⑩全処理委託量	594.67 t 500.00
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t 0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	594.67 t 500.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00 t 0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00 t 0.00

自 ら 中 間 処 理 す る 量
④ 0.00 t
0.00

④ の うち 熱 回 収 を
行 う 量
⑤ 0.00 t
0.00

自 ら 中 間 処 理 し た
後 の 残 さ
⑥ 0.00 t
0.00

自 ら 中 間 処 理 に よ り
減 量 し た 量
⑦ 0.00 t
0.00

自 ら 中 間 処 理 し た 後
自 ら 埋 立 処 分 又 は
海 洋 投 入 処 分 す る 量
⑨ 0.00 t
0.00

直 接 及 び 自 ら
中 間 処 理 し た 後 の
委 託 処 理 量
⑩ 594.67 t
500.00

⑩ の うち 優 良 認 定
処 理 業 者 へ の
処 理 委 託 量
⑪ 0.00 t
0.00

⑩ の うち 再 生 利 用 業 者
へ の 処 理 委 託 量
⑫ 594.67 t
500.00

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
へ の 処 理 委 託 量
⑬ 0.00 t
0.00

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者
へ の 処 理 委 託 量
⑭ 0.00 t
0.00

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: アスファルト 殻)

数値は、
上段:前年度実績値

有 償 物 量

不 要 物 等 発 生 量

排 出 量

自 ら 直 接
再 生 利 用 す る 量

② 0.00
0.00 t

自 ら 直 接 埋 立 処 分
又 は 海 洋 投 入 処 分 す る 量

③ 0.00
0.00 t

自 ら 中 間 処 理 し た 後
再 生 利 用 す る 量

⑧ 0.00
0.00 t

自 ら 中 間 処 理 し た 後
自 ら 埋 立 処 分 又 は
海 洋 投 入 処 分 す る 量

⑨ 0.00
0.00 t

自 ら 中 間 処 理 す る 量

④ 0.00
0.00 t

自 ら 中 間 処 理 し た
後 の 残 差

⑥ 0.00
0.00 t

④ の うち 熱 回 収 を
行 う 量

⑤ 0.00
0.00 t

自 ら 中 間 処 理 に よ り
減 量 し た 量

⑦ 0.00
0.00 t

直 接 及 び 自 ら
中 間 処 理 し た 後 の
委 託 処 理 量

⑩ 59.36
400.00 t

⑩ の うち 優 良 認 定
処 理 業 者 へ の
処 理 委 託 量

⑪ 0.00
0.00 t

⑩ の うち 再 生 利 用 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑫ 59.36
400.00 t

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑬ 0.00
0.00 t

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑭ 0.00
0.00 t

項 目	実 績 値
①排出量	59.36 400.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00 0.00 t
⑩全処理委託量	59.36 400.00 t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	59.36 400.00 t
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00 0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00 0.00 t

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

数値は、
上段:前年度実績値

有 償 物 量

不要物等発生量

排出量

自 ら 直 接
再 生 利 用 す る 量

自ら直接埋立処分
又は海洋投入処分する量

自ら中間処理した後
再生利用する量

自ら中間処理する量

自ら中間処理した
後の残さ

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

(13)	0.00	t
	0.00	

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

14	0.00	t
	0.00	

項 目	実 績 値	
①排出量	8.70	t
	30.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	t
	0.00	
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	t
	0.00	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t
	0.00	
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	t
⑩全処理委託量	8.70	t
	30.00	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	

(第2面)

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 金 属 く ず)

数値は、
上段:前年度実績値

項 目	実 績 値
①排出量	3.75 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	3.75 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.75 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

有 償 物 量	排 出 量
① 3.75 t	3.75 t
1.00	1.00

自 ら 直 接 再 生 利 用 す る 量	自 ら 直 接 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 す る 量	自 ら 中 間 処 理 す る 量	自 ら 中 間 処 理 し た 後 の 残 さ	自 ら 中 間 処 理 し た 後 自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 す る 量	直 接 及 び 自 ら 中 間 処 理 し た 後 の 委 託 処 理 量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
② 0.00 t	③ 0.00 t	④ 0.00 t	⑥ 0.00 t	⑨ 0.00 t	⑩ 3.75 t	⑫ 3.75 t	⑬ 0.00 t	⑭ 0.00 t
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00

④のうち熱回収を行う量	自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 し た 量
⑤ 0.00 t	⑦ 0.00 t
0.00	0.00

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)

数値は、
上段:前年度実績値

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	1.11	t
	3.00	t

自ら直接再生利用する量		
②	0.00	t
	0.00	t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量		
③	0.00	t
	0.00	t

自ら中間処理した後再生利用する量		
⑧	0.00	t
	0.00	t

項目	実績値	
①排出量	1.11	t
	3.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	t
	0.00	t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	t
	0.00	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t
	0.00	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	t
	0.00	t
⑩全処理委託量	1.11	t
	3.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	t

自ら中間処理する量		
④	0.00	t
	0.00	t

自ら中間処理した後の残さ		
⑥	0.00	t
	0.00	t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量		
⑨	0.00	t
	0.00	t

④のうち熱回収を行う量		
⑤	0.00	t
	0.00	t

自ら中間処理により減量した量		
⑦	0.00	t
	0.00	t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量		
⑩	1.11	t
	3.00	t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
⑪	0.00	t
	0.00	t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量		
⑫	0.00	t
	0.00	t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		
⑬	0.00	t
	0.00	t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
⑭	0.00	t
	0.00	t

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: が れ き 類
(石綿含有産業廃棄物))

数値は、
上段:前年度実績値

有 償 物 量

不 要 物 等 発 生 量

排 出 量

①	1.19	t
	5.00	

自 ら 直 接
再 生 利 用 す る 量

②	0.00	t
	0.00	

自 ら 直 接 埋 立 処 分
又 は 海 洋 投 入 処 分 す る 量

③	0.00	t
	0.00	

自 ら 中 間 処 理 し た 後
再 生 利 用 す る 量

⑧	0.00	t
	0.00	

項 目	実 績 値	
①排出量	1.19	t
	5.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	t
	0.00	
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	t
	0.00	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t
	0.00	
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	t
	0.00	
⑩全処理委託量	1.19	t
	5.00	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	

自 ら 中 間 処 理 す る 量

④	0.00	t
	0.00	

自 ら 中 間 処 理 し た
後 の 残 さ

⑥	0.00	t
	0.00	

自 ら 中 間 処 理 し た 後
自 ら 埋 立 処 分 又 は
海 洋 投 入 処 分 す る 量

⑨	0.00	t
	0.00	

④ の うち 熱 回 収 を
行 う 量

⑤	0.00	t
	0.00	

自 ら 中 間 処 理 に よ り
減 量 し た 量

⑦	0.00	t
	0.00	

直 接 及 び 自 ら
中 間 処 理 し た 後 の
委 託 処 理 量

⑩	1.19	t
	5.00	

⑩ の うち 優 良 認 定
処 理 業 者 へ の
処 理 委 託 量

⑪	0.00	t
	0.00	

⑩ の うち 再 生 利 用 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑫	0.00	t
	0.00	

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑬	0.00	t
	0.00	

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑭	0.00	t
	0.00	

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 鉍 さ い)

数値は、
上段:前年度実績値

有 償 物 量

不 要 物 等 発 生 量

排 出 量

①	2.95	t
	10.00	t

自 ら 直 接 再 生 利 用 す る 量		
②	0.00	t
	0.00	t

自 ら 直 接 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 す る 量		
③	0.00	t
	0.00	t

自 ら 中 間 処 理 し た 後 再 生 利 用 す る 量		
⑧	0.00	t
	0.00	t

項 目	実 績 値	
①排出量	2.95	t
	10.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	t
	0.00	t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	t
	0.00	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t
	0.00	t
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	t
	0.00	t
⑩全処理委託量	2.95	t
	10.00	t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00	t
	0.00	t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	t
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	t
	0.00	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	t

自 ら 中 間 処 理 す る 量		
④	0.00	t
	0.00	t

自 ら 中 間 処 理 し た 後 の 残 さ		
⑥	0.00	t
	0.00	t

自 ら 中 間 処 理 し た 後 自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 す る 量		
⑨	0.00	t
	0.00	t

④ の うち 熱 回 収 を 行 う 量		
⑤	0.00	t
	0.00	t

自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 し た 量		
⑦	0.00	t
	0.00	t

直 接 及 び 自 ら 中 間 処 理 し た 後 の 委 託 処 理 量		
⑩	2.95	t
	10.00	t

⑩ の うち 優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量		
⑪	0.00	t
	0.00	t

⑩ の うち 再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量		
⑫	0.00	t
	0.00	t

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者 へ の 処 理 委 託 量		
⑬	0.00	t
	0.00	t

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量		
⑭	0.00	t
	0.00	t

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、
上段:前年度実績値

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用する量

② 0.00 t
0.00

自ら直接埋立処分
又は海洋投入処分する量

③ 0.00 t
0.00

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧ 0.00 t
0.00

① 47.43 t
40.00

項目	実績値	
①排出量	47.43 t 40.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t 0.00	t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t 0.00	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t 0.00	t
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00 t 0.00	t
⑩全処理委託量	47.43 t 40.00	t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t 0.00	t
⑫再生利用業者への処理委託量	47.43 t 40.00	t
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00 t 0.00	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00 t 0.00	t

自ら中間処理する量

④ 0.00 t
0.00

自ら中間処理した
後の残さ

⑥ 0.00 t
0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨ 0.00 t
0.00

④のうち熱回収を
行う量

⑤ 0.00 t
0.00

自ら中間処理により
減量した量

⑦ 0.00 t
0.00

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫ 47.43 t
40.00

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量

⑬ 0.00 t
0.00

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0.00 t
0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩ 47.43 t
40.00

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0.00 t
0.00

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

数値は、
上段:前年度実績値

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	0.78	t
	10.00	

自ら直接再生利用する量		
②	0.00	t
	0.00	

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量		
③	0.00	t
	0.00	

自ら中間処理した後再生利用する量		
⑧	0.00	t
	0.00	

項目	実績値	
①排出量	0.78	t
	10.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	t
	0.00	
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	t
	0.00	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t
	0.00	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	t
	0.00	
⑩全処理委託量	0.78	t
	10.00	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.67	t
	4.00	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	t
	0.00	

自ら中間処理する量		
④	0.00	t
	0.00	

自ら中間処理した後の残さ		
⑥	0.00	t
	0.00	

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量		
⑨	0.00	t
	0.00	

④のうち熱回収を行う量		
⑤	0.00	t
	0.00	

自ら中間処理により減量した量		
⑦	0.00	t
	0.00	

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量		
⑩	0.78	t
	10.00	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
⑪	0.00	t
	0.00	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量		
⑫	0.67	t
	4.00	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		
⑬	0.00	t
	0.00	

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
⑭	0.00	t
	0.00	

【別紙2】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 水 銀 使 用 製 品)

数値は、
上段:前年度実績値

有 償 物 量

不 要 物 等 発 生 量

排 出 量

①	0.009	t
	1.000	

自 ら 直 接
再 生 利 用 し た 量

②	0.000	t
	0.000	

自 ら 直 接 埋 立 処 分
又 は 海 洋 投 入 処 分 し た 量

③	0.000	t
	0.000	

自 ら 中 間 処 理 し た 量

④	0.000	t
	0.000	

④ の うち 熱 回 収 を
行 っ た 量

⑤	0.000	t
	0.000	

自 ら 中 間 処 理 し た
後 の 残 さ

⑥	0.000	t
	0.000	

自 ら 中 間 処 理 に よ り
減 量 し た 量

⑦	0.000	t
	0.000	

自 ら 中 間 処 理 し た 後
再 生 利 用 し た 量

⑧	0.000	t
	0.000	

自 ら 中 間 処 理 し た 後
自 ら 埋 立 処 分 又 は
海 洋 投 入 処 分 し た 量

⑨	0.000	t
	0.000	

直 接 及 び 自 ら
中 間 処 理 し た 後 の
委 託 処 理 量

⑩	0.009	t
	1.000	

⑩ の うち 優 良 認 定
処 理 業 者 へ の
処 理 委 託 量

⑪	0.000	t
	0.000	

⑩ の うち 再 生 利 用 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑫	0.000	t
	0.000	

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑬	0.000	t
	0.000	

⑩ の うち 熱 回 収 認 定 業 者
以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者
へ の 処 理 委 託 量

⑭	0.000	t
	0.000	

項 目	実 績 値	
①排出量	0.009	t
	1.000	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000	t
	0.000	
⑤自ら熱回収を行った量	0.000	t
	0.000	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000	t
	0.000	
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.000	t
	0.000	
⑩全処理委託量	0.009	t
	1.000	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.000	t
	0.000	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000	t
	0.000	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.000	t
	0.000	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.000	t
	0.000	

備考

- 1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所ごとに1枚作成し、循環型地域社会の形成に関する条例施行規則第3条の2の基準に従って作成した産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。